

令和 4 年度 施策評価表

施策	2001	環境保全の推進	施策担当部	市民環境部	部長	杉野 幸夫
			施策担当課	環境保全課	課長	小中尾 政則
施策の方針	地球温暖化対策を推進するとともに、豊かな自然環境の保全や自然を活かした環境教育に努める。					
関連するSDGsのゴール	       					

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R3年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 市の公共施設における温室効果ガス排出量	t-CO2/年	29,103	28,812 20,186	28,521	28,320	27,939	27,648	142.7%	137.0%
② 大村湾のCOD値	mg/L	2.0	2.0 2.4	2.0	2.0	2.0	2.0	83.3%	83.3%
③ 環境講座・イベントへの参加者数	人/年	977	1,000 510	1,000	1,000	1,000	1,000	51.0%	51.0%
④									
⑤									

施策達成状況の説明

- ①市公共施設からの温室効果ガス総排出量は、前年度比26.3%減となり、基準年度（令和元年度）比も35.6%の減となり目標を達成できた。
※環境センター火災により一般廃棄物の焼却量が大幅に減少している。
- ②大村湾のCOD（化学的酸素要求量）値は、測定地点17か所のうち、環境基準適合となった地点が増加（適合地点1か所から2か所）となったが、平均値は2.4 mg/Lで目標値2.0mg/Lを達成することができなかった。
- ③新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からのイベント中止やリバーウォッチングの1会場が令和2年7月の豪雨の影響により使用できず、中止となったため、目標達成はできなかった。

施策経費

(単位:千円)		R3年度 決算	R4年度 予算	R5年度 見込	特記事項
内訳	事業費	3,923	19,867	13,619	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	1,104	3,332	1,878	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	6,728	8,541	
	一般財源	2,819	9,807	3,200	
	人件費	11,867	11,558	—	
フルコスト	15,790	31,425	—		

施策の概要（細施策）

200101	地球温暖化対策の推進	市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策を推進するため、家庭生活や企業活動における省エネルギー活動の普及啓発や建築物の省エネルギー化を促進します。 また、公共施設については、再生可能エネルギー等の導入や活用を促進するとともに、市民や事業者に対し、普及啓発を行います。
200102	豊かな自然環境の保全	大村湾や多良山系などの豊かな自然環境を守るため、水源かん養機能や土砂災害防止機能などを持つ森林・農地の保全を推進します。 また、県、大村湾流域市町等で組織する「大村湾をきれいにする会」との連携を図りながら、大村湾の環境保全に努めます。
200103	環境保全意識の醸成	市民や事業者が環境についての理解を深め、自発的な環境保全活動の実践につながるよう、啓発を行うとともに、大村湾や多良山系など、自然環境を活かした環境学習を開催します。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

- (地球温暖化対策の推進)
 - ・市公共施設における電気使用量の増加により、温室効果ガスの排出量が増加している。今後とも、公共施設等の建替えや新築時、増改築時等に於いて積極的に再生エネルギー等の導入や省エネルギーの推進を行う必要がある。
- (豊かな自然環境の保全)
 - ・大村湾の浄化対策は、県が中心となって様々な施策を推進したことにより、大村湾全体の水質は改善傾向にあるが、湾奥部の水質は依然として環境基準を達成しておらず、貧酸素水塊等も毎年発生している状況にある。
- (環境保全意識の醸成)
 - ・小中学生については、環境学習を新たに設けることは学校とのニーズが一致しない限り、限られた授業数の中で取り組むことは難しい。大村湾ウォッチング等は、屋外で行うイベントのため天候に左右される。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

- (地球温暖化対策の推進)
 - ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ノーマイカーデー実施が困難であるため、当分の間は長崎県が推進しているスマートムーブ（エコドライブ等）の普及に取り組んでいく。
- (豊かな自然環境の保全)
 - ・県や沿岸5市5町等で構成する大村湾をきれいにする会（会長：大村市長）で、引き続き環境省、農林水産省、国土交通省に対し、貧酸素水塊の改善、浅場の造成、海洋生物の生息環境の改善等の具体的な対策について要望を行う。
- (環境保全意識の醸成)
 - ・教育委員会等と連携をとり、対象となる小学生によりわかりやすく、内容を深めた環境学習を行う。
 - ・県・環境保健研究センターと協働で行う環境イベントを開催する。
- (水質浄化、CO2削減の推進)
 - ・企業版ふるさと納税の寄付金を活用して、大村湾の水質浄化及びCO2吸収・固定化を図る事業に取り組む。

令和5年度新規事業

事業名	担当課	令和5年度見込	対象・事業概要など
		事業費（千円）	
1 電動アシスト自転車購入費補助事業	企画政策課	3,241	ゼロカーボンシティ（2050年CO2実質排出ゼロ）の実現に向けた取組の一環として、自家用車等への依存度を下げ、環境の負荷低減を図るとともに、市民の健康増進や高齢者運転の事故抑制等につなげることを目的に、電動アシスト自転車の購入費用に対する補助を実施し、市民の自転車利用を促進するもの。
2			
3			
4			
5			
		3,241	